

『KURUME CAMP応援校』の取り組み

2021年10月06日

市内小学校・中学校・高校9校が、ケニア共和国とカザフスタン共和国について学習し、応援する『KURUME CAMP応援校』として活動しました。

コロナ禍で選手との直接交流ができない中でも、それぞれの学校が工夫をして、両国を応援しました。両国の選手に、子供たちの想いは伝わり、選手たちは大変喜んでいました！

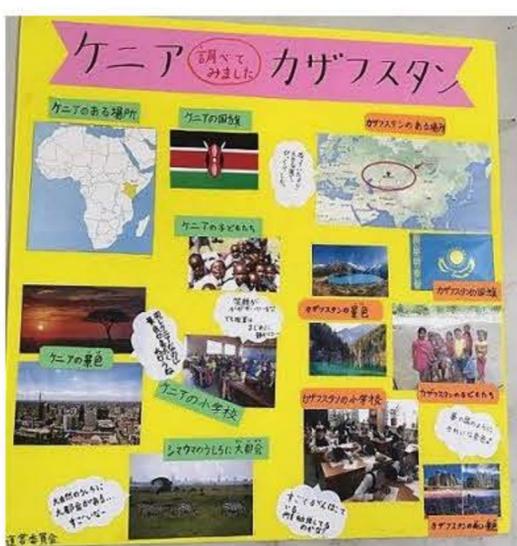
改めて、応援校の取り組みをご紹介します！



青峰小学校：イラストを交えた応援フラッグの作成



烏飼小学校：英語、スワヒリ語、カザフスタン語でのメッセージを書いた応援フラッグの作成



水分小学校：ケニア、カザフスタンについて調べ学習をしました！



水分小学校：応援フラッグの作成



大橋小学校：応援フラッグの作成と和太鼓演奏の応援動画作成



応援動画は、選手の食事中に上映しました！



川会小学校：応援フラッグ作成とオンライン交流



荘島小学校：地形をイメージしたオリジナルデザインの応援フラッグの作成



特別支援中学校：オリジナルの応援フラッグを持って練習見学



特別支援中学校：練習見学後は、宿泊会場にも飾りました！



三瀬高校：応援フラッグ作成



久留米信愛中学校・高校：応援フラッグ作成



ラグビー女子チームからは、日本式の「お辞儀」で久留米の応援に対して感謝の言葉が述べられました！